

●日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール

(2014年10月1日版 ※予防接種法等に基づき、編集部にて一部加筆。)

ワクチン	種類	乳児期								幼児期					学童期／思春期									
		生直後	6週	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	8カ月	9-11カ月	12-15カ月	16-17カ月	18-23カ月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上	
インフルエンザ菌 b型 (ヒブ)	不活化		①	②	③	ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、ロタウイルスの必要接種回数を早期に完了するには、同時接種で受けることが重要。					④	③から7カ月あけて接種が可能。												
肺炎球菌 (PCV13)	不活化		①	②	③						④													
B型肝炎 (HBV)	ユニバーサル		①	②						③						①②③ ● 乳児期に接種していない場合。								
	母子感染予防	①	②						③															
ロタウイルス	1価		①	②						②は生後24週未満までに完了すること。														
	5価		①	②	③						③は生後32週未満までに完了すること。													
四種混合 (DPT-IPV)	不活化			①	②	③					④ ●	(7.5歳まで)												
BCG	生				①					③④間は 6カ月以上あけ、標準的には③終了後、12-18カ月の間に接種。														
麻しん、風しん (MR)	生						①					② ● 小学校入学前の1年以内。おたふくかぜと同時接種を。												
水痘	生						①					②	● 予防効果を確実にするため、3歳以上の子どもも2回接種が必要。											
おたふくかぜ	生						①					② ● 予防効果を確実にするため2回接種を。												
日本脳炎	不活化											①	②	③	(7.5歳まで)		④ 9-12歳							
インフルエンザ	不活化											毎年(10月、11月などに)①②					13歳より ①							
二種混合 (DT)	不活化																11歳 ①	12歳						
ヒトパピローマウイルス (HPV)	不活化																2価ワクチンは10歳以上、4価ワクチンは9歳以上から接種可能。ワクチンによってスケジュールが異なる。 ●					小6	中1 ①②③	中2-高1

 定期接種の推奨期間
 任意接種の推奨期間
 定期接種の接種可能な期間
 任意接種の接種可能な期間
 小児科学会として推奨する期間

※予防接種の内容やスケジュールの最新情報は、国立感染症研究所「予防接種情報」を確認しましょう。
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/vaccine-j.html>